

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みえない・みえにくい人たちまたその家族・友人等向け ipad 勉強会
事業主体 (連絡先)	障害者パソコン研究会 会長 前野 弘美 メール hmaeno@avis.ne.jp HP http://pasoken.naganoblog.jp/ 携帯電話 080-1043-7315 (出ないときは留守電になりますのでコメントを残してください。)
事業区分	(2)保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	610,321円 (うち支援金: 429,000円)

事業内容

・視覚に障害を持つ方、高齢や病気による見えにくさを感じている人にタブレットを利用して「新聞が読みたい」「本を読みたい」「音楽を聴きたい」「メールを送りたい」「旅行へ行きたい」「買い物をしたい」などを1つ1つ可能にするための勉強会の場である。

・この勉強会は、視覚障害者がタブレットが利用できることによって自立することを目的とする。



【タブレット・スマホ利用ガイド】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・参加した人からは新聞・読書・買い物など日常生活の中でタブレットを利用できるようになった。目が見えなくなってしまったことであきらめていた生活のリズムが取り戻せた。そしてタブレットを使えることが多くなってきたことで、毎日の楽しさや生きがいを感じられるようになった。

・一つ一つ疑問点をクリアしていくこと、そして生活の中に取り入れていく喜びや楽しみを味わえる契機となった。

【目標・ねらい】

- ①視覚障がい者が ipad を便利に使う。
- ②いろいろなアプリをつかう。
- ③生活の糧になれば。

※自己評価 【 A 】

【理由】
勉強会に参加して、みえなくなったことへの不安が解消され、ipad で生活が便利になった。という参加者の声がうれしいです。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

視覚障がい者がタブレットを利用したいとき、どこで教わったらいいのか、という不安に対し、障害者パソコン研究会が窓口になって答えることができるようにしていく。
元気づくり支援金で2年半の勉強会ができその成果として「タブレット・スマホ利用ガイド」を作成することができた。Amazonに掲載、Kindleで読むことができる。「障害者パソコン研究会」と検索してください。そのガイドブックを活用し今後は、会員のいる塩尻市・安曇野市などにも拠点を増やし活動していきたいと思う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある